

第 13 章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高 12 ～ 15 m 前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北 300 m、東西 800 m の範囲であったが、2002 年から 2004 年に行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大溝を検出した南北 160m、東西 80m の範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として 2004 年 3 月に追加した。第 3 地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺 140 ～ 160m の台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008 年 2 月に遺跡範囲の変更増補を行った。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ部分的に畑が残っている。

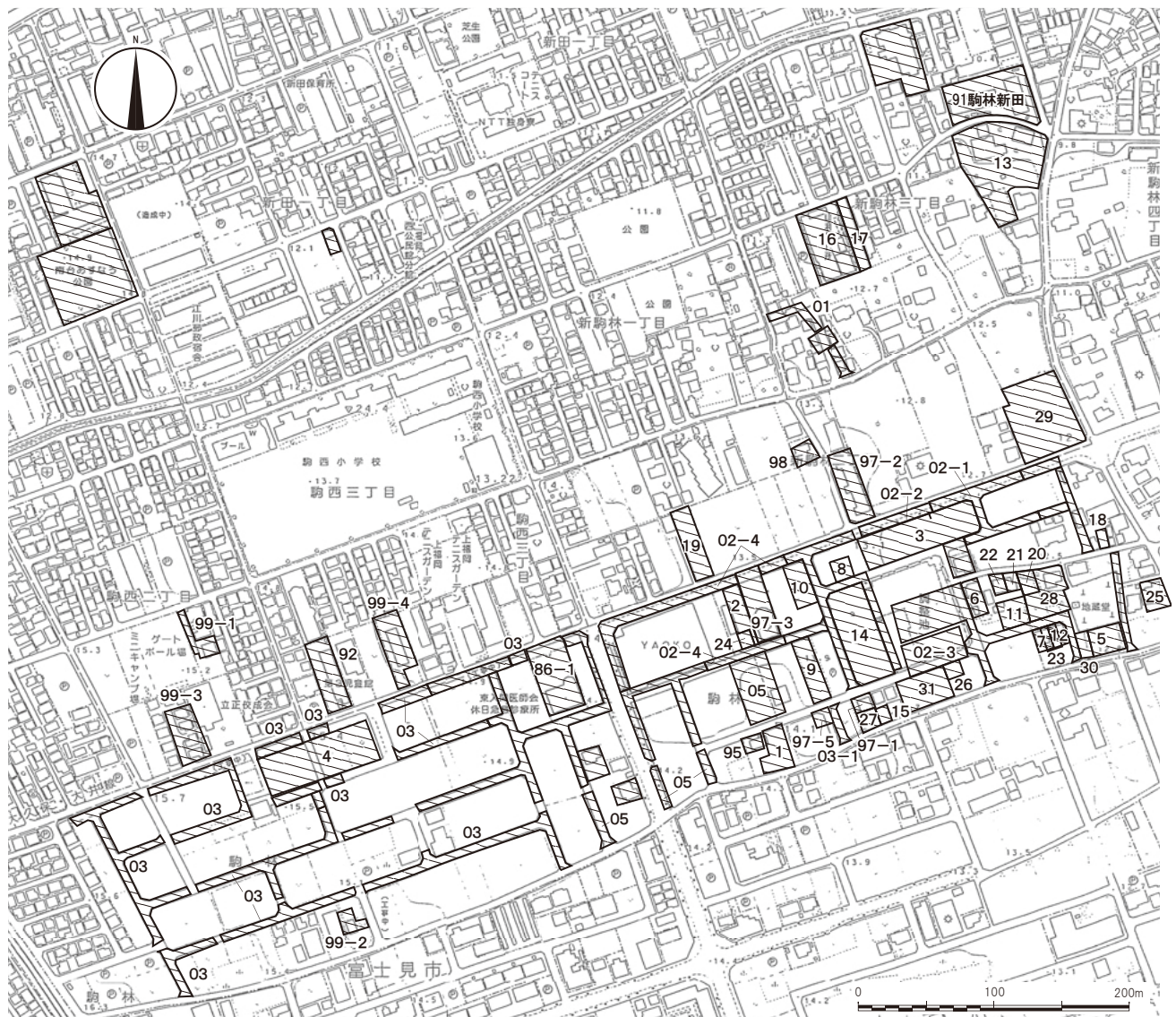
周辺の遺跡は、北側に葺石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側に地下式坑を検出した駒林新田前遺跡、500m 下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。2002 年以降の試掘調査の結果、幅 5 m、深さ 2 m の大溝や茶毘跡、縄文時代の集石土坑等を検出する。

II 駒林遺跡第 16・17 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2011 年 4 月 8 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。現状は更地となっていたが、以前は一続きの土地で、工場が建っていた。

また、再開発に当たり、東西で土地所有者が異なる



第 53 図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)



第54図 駒林遺跡遺構分布図 (1/2,000)

ため、前協議書は第 16 地点と第 17 地点として提出された。申請者と協議の結果、隣接地であり再開発も一連の分譲住宅であり、一括して試掘調査を行った。

第 16 地点の試掘調査は同年 5 月 2 日～25 日、第 17 地点が 16 日～19 日に行った。幅約 1.5 m のトレンチを第 16 地点に 7 本、第 17 地点に 2 本設定した。重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、調査区北側の道路に沿って、両地点に延びる堀跡が確認された。また第 16 地点中央部で近世の遺物を出土する遺構が確認された。

試掘調査の結果、両申請者と協議を行った。遺跡の大部分は、30 cm 以上の保護層が確保されるため工事立会いの措置とした。しかし、第 16 地点の範囲内に新たに設置される道路部分と開発区域の一部については、開発による遺跡への影響が避けられないため、原因者負担による本調査を実施した。

第 16 地点の本調査は、同年 5 月 25 日～6 月 1 日まで行い、縄文時代土坑 1 基、中世以降の堀跡 1 本、溝 1 本、近世以降の井戸 2 基、時期不明土坑 1 基、ピット 4 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

【堀跡・溝】堀跡は調査区北側で、東西の道路に並行する。断面は逆台形で、底部の一部には土坑状の掘り込みがみられる。上幅 427～450 cm、下幅 167～191 cm、深さ 155.7 cm である。溝は調査区北側で堀跡と道路に並行するように位置する。断面は「U」字状で、上幅 48～67 cm、下幅 22～40 cm、深さ 30 cm である。

【井戸・土坑・ピット】各遺構の詳細については、第 24 表のとおりである。

【遺物】遺物は、第 16 地点の 2 基の井戸と、土坑 1 から出土する。第 17 地点と堀跡からは出土しない。遺物の詳細は第 25 表のとおりである。

Ⅲ 駒林遺跡第 18 地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成後個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2011 年 4 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」と「発掘届」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため、遺構の存在を確認するための試掘調査を実施した。試掘調査

は同年 4 月 28 日～5 月 2 日まで行った。幅 1.5 m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、縄文時代の土坑 1 基、中近世以降とみられる土坑、ピット等を確認した。地表面から遺構確認面までの深さは 20～30 cm であった。

個人住宅建設による遺跡への影響が避けられないため、原因者と再度協議の結果、本調査を実施した。

本調査は 8 月 25 日～31 日まで行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

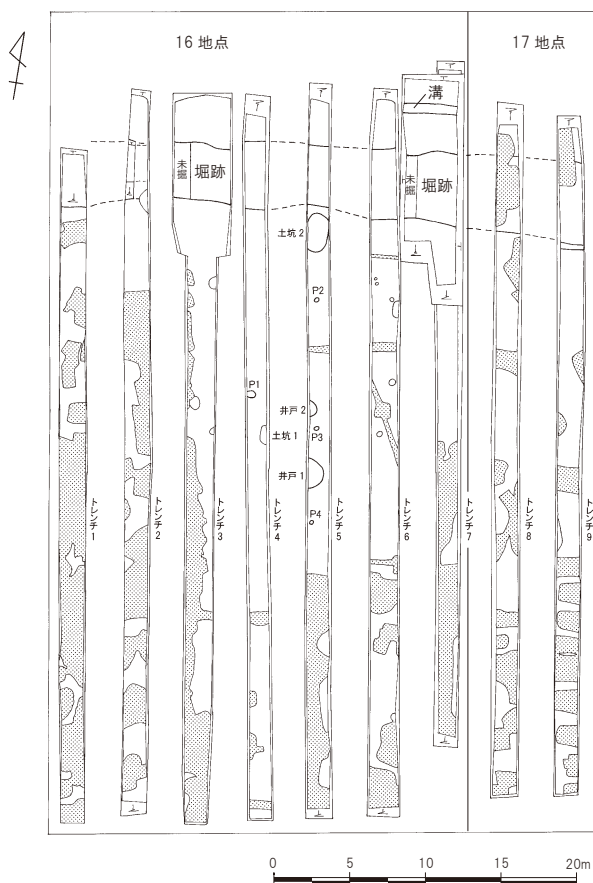
土坑 1 は半円形で、確認面径 115 cm、深さ 82 cm である。土坑 2 は幅広い溝状を呈し、長軸 (4.5) m × 短軸 3.5 m、深さ 113.3 cm である。土坑 1・2 は近世以降。溝の断面はほぼ垂直に立ち上がり、上幅 78～85 cm、下幅 58～70 cm、深さ 13.8 cm である。近世以降。

遺物は土坑 2 から出土したものを掲載した。詳細は第 26 表のとおりである。

Ⅳ 駒林遺跡第 19 地点

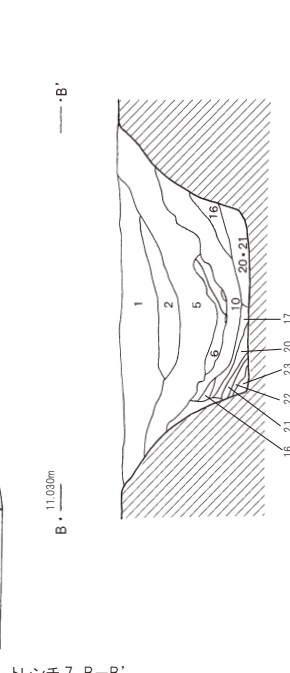
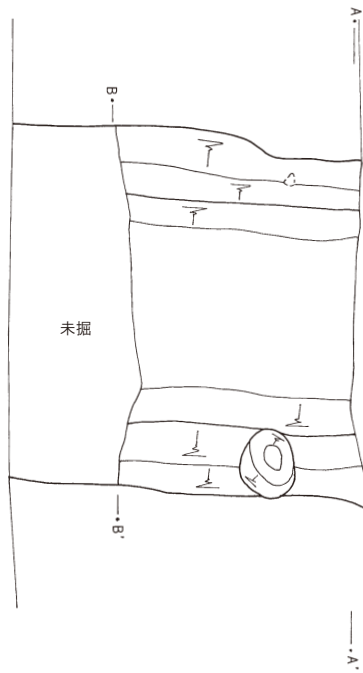
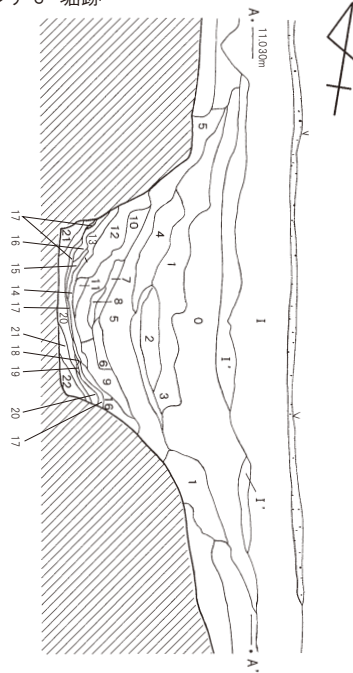
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2011 年 11 月 11 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」

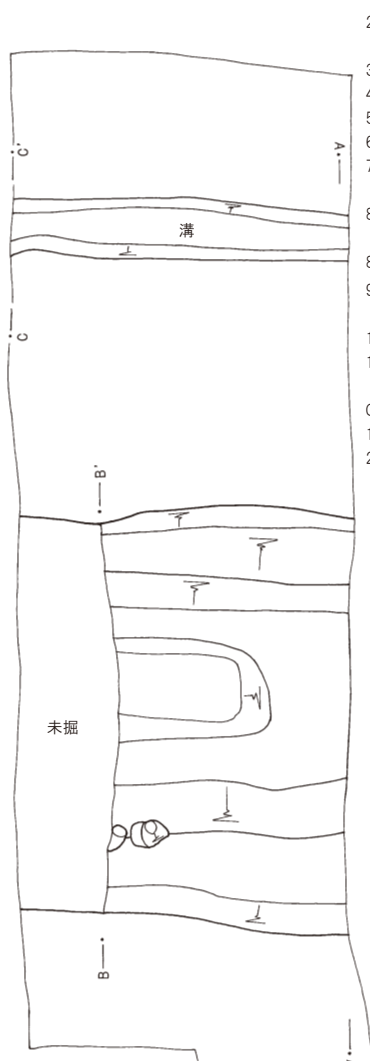
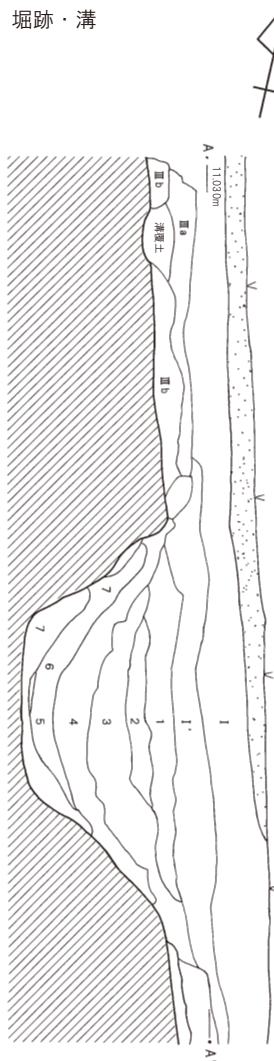


第 55 図 駒林遺跡第 16・17 地点遺構配置図 (1/500)

トレンチ 3 堀跡



トレンチ 7 堀跡・溝

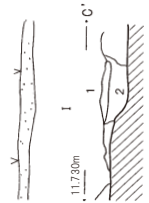
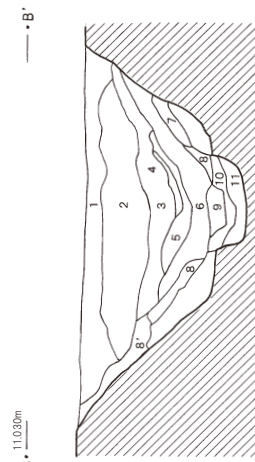


トレンチ 7 B-B'

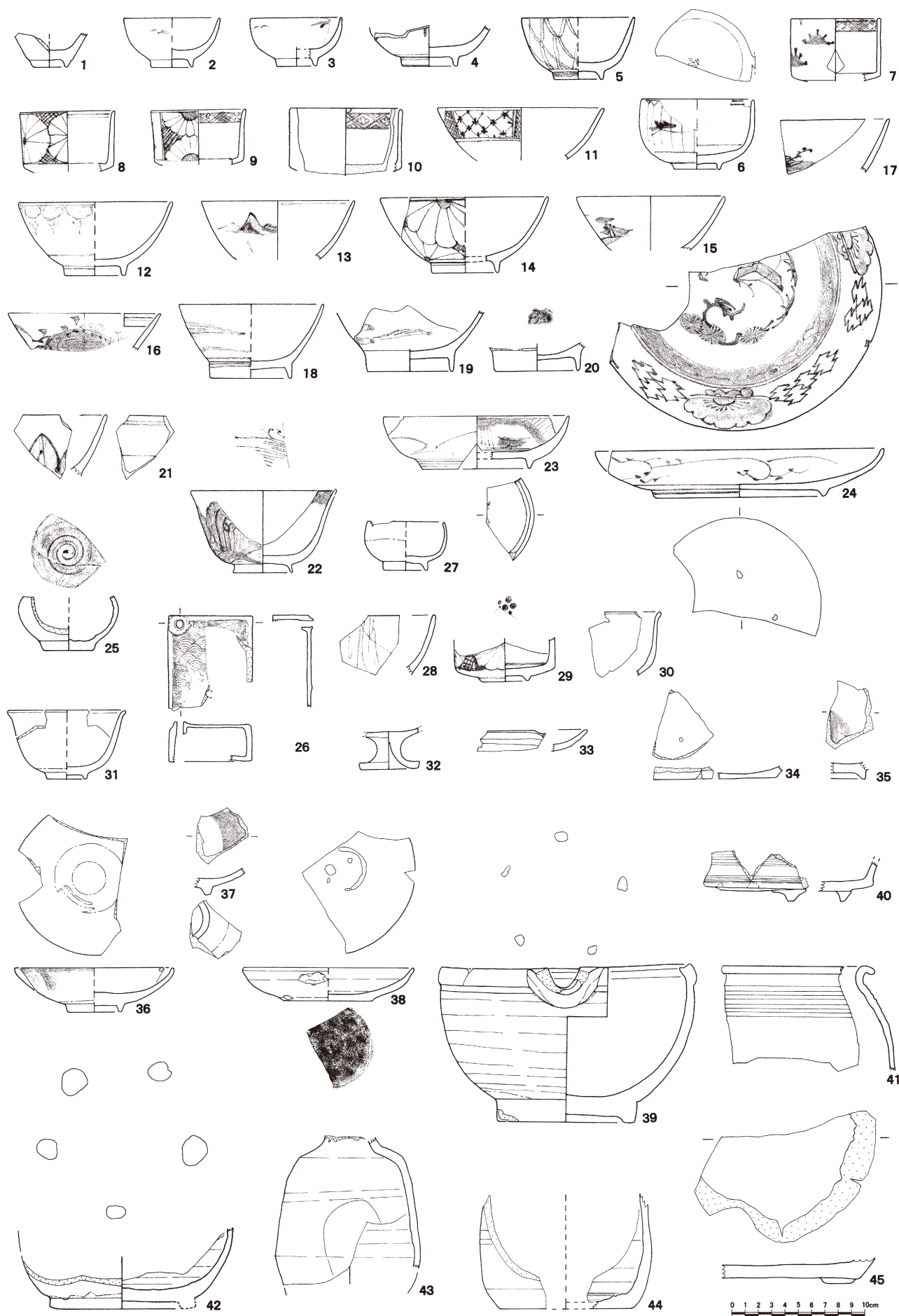
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、1層より黒く、5mm 大シミ状ロームやや多く含む以外は1層に類似
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、1'・1層より黒く1cm 大ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒多く含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、1mm 大ローム粒・赤褐色粒やや多く含む
4. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒主体に黒褐色土を含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、2層に類似
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、3層に類似
7. 黒褐色土 + 暗褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体に2cm 大ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒多く含む
8. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒多く、5mm 大ローム少し含む、3・6層より多く含む
- 8'. 黒褐色土 締り有、粘性有、8層にほぼ同じだが締り弱い
9. 黒褐色土 締り有、粘性有、1mm 以下ローム粒多く含む、削るとシャリシャリする、西堀第層に類似
10. 黒褐色土 締り有、粘性有、6層に類似するが粘性やや強い他は同じ
11. 黒褐色土 締り有、粘性有、10層に類似するが粘性やや強い他は同じ、2cm 大シミ状ローム少し含む

C-C'

1. 黒色土 締り有、粘性有、層全体に2cm 以下シミ状黒褐色土少し含む
2. 黒色土 締り有、粘性有、層主体に1cm 以下シミ状黒褐色土少し含む



第57図 駒林遺跡第16地点堀跡 (1/80)



第58図 駒林遺跡第16地点出土遺物① (1/4)

がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、遺構の存在を確認する試掘調査を実施した。

試掘調査は 2011 年 11 月 28 日～12 月 5 日に、幅約 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、地表面から深さ 30～50 cm で、中近世以降の溝跡を確認した。

試掘調査をもとに原因者と協議の結果、工事による遺跡への影響が避けられないことから、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は、12 月 12 日に溝を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

堀跡は調査区中央部に位置し、東西方向に延びる。断面は逆台形で、上幅 107～135 cm、下幅 21～27 cm、深さ 60.4 cm である。中近世以降。

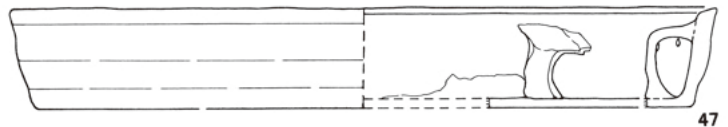
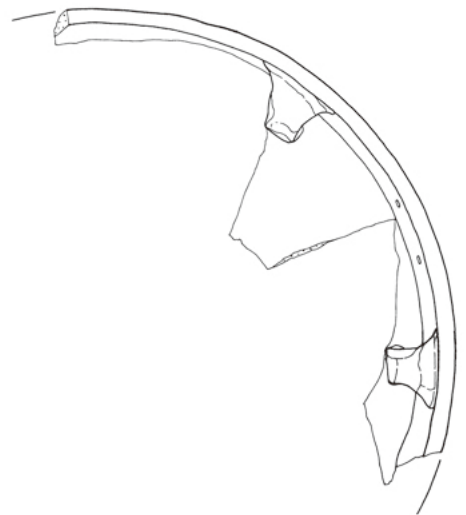
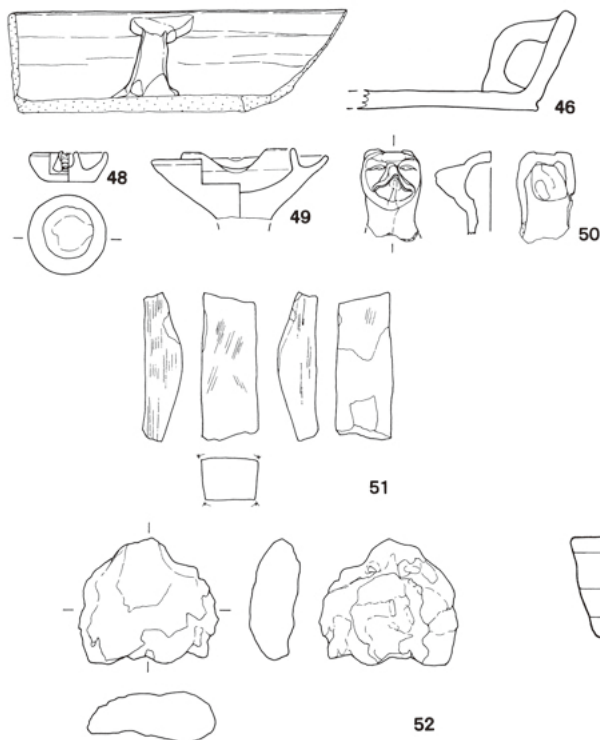
遺物は遺構外から縄文時代中期～後期の深鉢形土器の、無文の底部が出土している。(第 61 図 1)

V 駒林遺跡第 20・21・22 地点

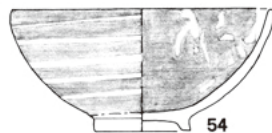
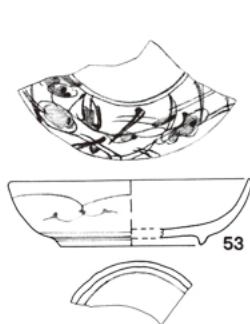
(1) 調査の概要

駒林遺跡第 20 地点の調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 2 月 10 日付け、同第 21 地点は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 2 月 20 日付け、同第 22 地点は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 2 月 28 日付けで「埋

井戸 1



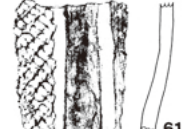
井戸 2



土坑 1



遺構外



第 59 図 駒林遺跡第 16 地点出土遺物② (1/4)

蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。3ヶ所の地点は、以前は同一の土地所有者であったが、開発にあたってはそれぞれの原因者より「埋蔵文化財事前協議書」と「発掘届」が提出された。各届け出の提出時期は異なるが、各原因者と協議の結果、一括して試掘調査を行った。

試掘調査は同年3月5日～8日に行った。幅約1～1.5 mのトレンチを4本設定した。重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

第20地点では地山ローム層までの深さは約30 cm、第21・22地点では約60 cmであった。第21・22地

点では、調査区全体の地山ローム層が、約30 cm掘削されていた。第21地点で時期不明のピット6基、第20・21地点で風倒木跡各1ヶ所を検出した。ピットの詳細は第27表のとおりである。写真撮影・全測図

第24表 駒林遺跡第16地点井戸・土坑・ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
井戸1	(円形)	202×97	142×69	81.1	
井戸2	(円形)	100×(23)	68×(15)	83.1	
土坑1	不明	162×(78)	102×(36)	74.1	
土坑2	楕円形	259×134	238×122	35.1	
P1	円形	55×47	23×16	35.2	
P2	方形	27×20	10×6	43.0	
P3	方形	25×23	15×6	15.0	
P4	円形	28×27	19×4	35.1	

第25表 駒林遺跡第16地点出土遺物観察表 寸法単位:cm ()付きは推定値

掲載No	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	井戸1	磁器/小坏	-	2.5	-	轆轤成形/青白磁	肥前	1680～1780年代
2		磁器/小坏	(7.2)	3.0	3.8	轆轤成形/染付/海上遠島文	肥前	1690～1800年代
3		磁器/小坏	(7.0)	(3.0)	3.7	轆轤成形/染付/海島文	肥前	1690～1800年代
4		磁器/碗/厚手碗	-	(4.2)	-	轆轤成形/染付	肥前	1710～1800年代
5		磁器/碗/厚手碗	(8.6)	(3.7)	4.7	轆轤成形/染付/二重網目文	肥前	1700～1800年代
6		磁器/碗/小丸碗	(8.5)	3.5	5.3	轆轤成形/染付/虫巻文・口縁内二重圈線・見込圈線・宝珠文	肥前	1760～1810年代
7		磁器/碗/半筒碗	(6.8)	-	-	轆轤成形/染付/小松原文・口縁内四方禪文・見込圈線	肥前	1760～1810年代
8		磁器/碗/半筒碗	(7.2)	-	-	轆轤成形/染付/菊花文・口縁内二重圈線・見込圈線	肥前	1760～1810年代
9		磁器/碗/半筒碗	(7.2)	-	-	轆轤成形/染付/仕切菱刻菊文・口縁内四方禪文・見込圈線	肥前	1760～1810年代
10		磁器/碗/半筒碗	(8.6)	-	-	轆轤成形/青磁染付/口縁内四方禪文	肥前	1760～1770年代
11		磁器/碗/丸碗	(12.6)	-	-	轆轤成形/染付/市松文	肥前	1780～1810年代
12		磁器/碗/丸碗	(11.6)	4.6	5.7	轆轤成形/染付/嬰絡文	肥前	1780～1810年代
13		磁器/碗/丸碗	(11.6)	-	-	轆轤成形/染付/海上遠島文	肥前	1770～1810年代
14		磁器/碗/丸碗	(12.8)	(5.0)	5.8	轆轤成形/染付/割菊文	肥前	1780～1810年代
15		磁器/碗/丸碗	(11.2)	-	-	轆轤成形/染付/海浜風景文	肥前	1770～1810年代
16		磁器/碗/広東碗	(11.6)	-	-	轆轤成形/染付/菊花文・口縁内二重圈線	肥前	1780～1830年代
17		磁器/碗/広東碗	-	-	-	轆轤成形/染付/草花文	肥前	1780～1830年代
18		磁器/碗/広東碗	(11.0)	6.2	5.7	轆轤成形/染付/海上遠島文/見込にハリ痕2箇所残存	肥前	1780～1830年代
19		磁器/碗/広東碗	-	6.4	-	轆轤成形/染付/見込遠島文	肥前	1780～1830年代
20		磁器/碗/広東碗	-	6.4	-	轆轤成形/染付	肥前	1780～1830年代
21		磁器/碗/広東碗	-	-	-	轆轤成形/染付/連弁文・口縁内二重圈線	瀬戸・美濃	1810～1830年代
22		磁器/碗/肥前端反碗	(11.0)	4.3	6.2	轆轤成形/染付/海浜風景文・見込帆船文	肥前	1830～1870年代
23		磁器/皿/厚手U字高台皿	(14.0)	(8.0)	4.0	轆轤成形/染付/柳文・外唐草文	肥前	1750～1810年代
24		磁器/皿/三角高台皿	(21.8)	(12.6)	3.6	轆轤成形/染付/紙垂三蓋松・見込松竹梅・外唐草文/底裏ハリ痕	肥前	1670年代以降
25		磁器/瓶	-	3.7	-	轆轤成形/白磁	肥前	1750～1810年代
26		磁器/水滴	-	6.4	3.5	型押・貼付成形/染付/篋文	肥前	1750年代以降
27		陶器/小坏	(5.8)	3.3	3.7	轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃	1780～1860年代
28		陶器/碗/柳茶碗	-	-	-	轆轤成形/透明釉/鉄絵柳文	瀬戸・美濃	1780～1820年代
29		陶器/碗/太白手半筒碗	-	3.6	-	轆轤成形/陶胎染付/菊花文・見込点描五弁花文	瀬戸・美濃	1780～1860年代
30		陶器/碗/透明釉端反碗	-	-	-	轆轤成形/透明釉	京・信楽	1780～1860年代
31		陶器/碗/透明釉端反碗	(9.0)	3.1	5.2	轆轤成形/透明釉	京・信楽	1780～1860年代
32		陶器/仏飯器	-	4.4	-	轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃	1780～1860年代
33		陶器/皿/志野皿	-	-	-	轆轤成形/長石釉	瀬戸・美濃	1590～1660年代
34		陶器/皿/志野皿	-	-	-	轆轤成形/長石釉	瀬戸・美濃	1590～1660年代
35		陶器/皿/志野織部皿	-	-	-	轆轤成形/長石釉/鉄絵	瀬戸・美濃	1600～1660年代
36		陶器/皿/青緑釉輪壳皿	(12.0)	4.0	3.4	轆轤成形/青緑釉・透明釉	肥前	1650～1730年代
37		陶器/皿/青緑釉輪壳皿	-	-	-	轆轤成形/青緑釉・透明釉	肥前	1650～1730年代
38		陶器/灯明皿	(13.0)	(6.6)	2.5	轆轤成形/鉄釉/見込に環状目痕/外面タル付着	瀬戸・美濃	1750～1820年代
39		陶器/片口	18.8	10.5	12.0	轆轤成形/灰釉/見込にピン痕5箇所	瀬戸・美濃	1800～1860年代
40		陶器/香炉	-	-	-	轆轤成形/鉄釉/足貼付	瀬戸・美濃	1700～1740年代
41		陶器/甕	-	-	-	轆轤成形/鉄釉	瀬戸・美濃	1770～1860年代
42		陶器/甕	-	11.0	-	轆轤成形/鉄釉/見込に目痕5箇所	瀬戸・美濃	1770～1860年代
43		陶器/德利/べこかん德利	-	-	-	轆轤成形/鉄釉	瀬戸・美濃	1780～1820年代
44		陶器/德利/由右衛門德利	-	(9.9)	-	轆轤成形/鉄泥	志戸呂	1690～1800年代
45		土器/鉢類	-	-	-	轆轤成形/足貼付	-	-
46		土器/焙烙	-	-	5.3	輪積成形/内耳貼付/外面に煤付着	-	近世
47		土器/焙烙	(37.4)	(34.7)	5.0	輪積成形/内耳貼付/補修用の穿孔2箇所	-	近世
48		土器/燗鍋	4.2	2.1	1.6	轆轤成形/底部糸切痕/底面に煤付着	-	1750～1780年代
49		土器/灯明受皿	9.4	-	-	轆轤成形/内面銀彩/内面に煤付着	-	1700～1780年代
50		土製品/像(狐)	-	-	-	型合わせ成形	-	18c.前葉以降
51		石製品/砥石	-	3.0	2.2	石質:火成岩/重量:71.44g/両側面に櫛目状成形痕/色調:灰色	群馬県	-
52		金属製品/碗形鉄滓	6.6	7.3	2.7	重量:150.64g	-	-
53	井戸2	磁器/皿/厚手U字高台皿	(13.0)	(7.4)	3.5	轆轤成形/染付/松葉文	肥前	1750～1810年代
54		陶器/碗/刷毛目碗	(14.0)	5.1	6.5	轆轤成形/透明釉/白泥刷毛目文	瀬戸・美濃	1760～1830年代
55		磁器/碗/小広東碗	(9.0)	3.2	4.5	轆轤成形/染付/縦鎖線文・見込寿字花文	肥前	1770～1810年代
56		陶器/壺	(8.5)	-	-	轆轤成形/耳貼付/灰釉・耳1箇所残存	瀬戸・美濃	1750年代以降
57	土坑1	磁器/碗/厚手碗	(9.8)	-	-	轆轤成形/染付/梅枝文	肥前	1680～1740年代
58		陶器/鉢/刷毛目鉢	-	-	-	轆轤成形/白泥	肥前	1650～1710年代
59		金属製品(鉄)/刀子	-	(1.4)	(0.1)	重量:4.33g	-	-
60	トレンチ5	縄文土器/深鉢	-	-	0.8	S字状口縁部隆帯に刻目、頸部は刻目のある円形状隆帯脇に半截竹管状工具で刺突、区画内に押引文と細かい爪形文。	-	縄文時代中期初頭
61	ビット1	縄文土器/深鉢	-	-	0.7	地文RI縄文・沈線の懸垂文間を幅広に磨り消す	-	縄文時代加曽利EⅢ式



駒林遺跡第 16 地点調査風景



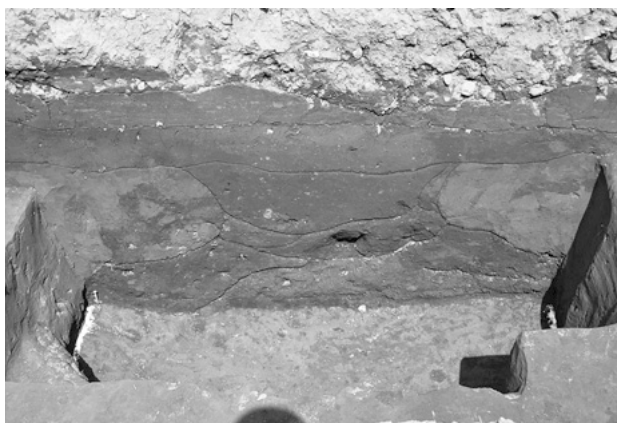
駒林遺跡第 16 地点堀跡



駒林遺跡第 16・17 地点調査風景



駒林遺跡第 16 地点井戸 1・2、ピット 3



駒林遺跡第 16 地点土坑 1



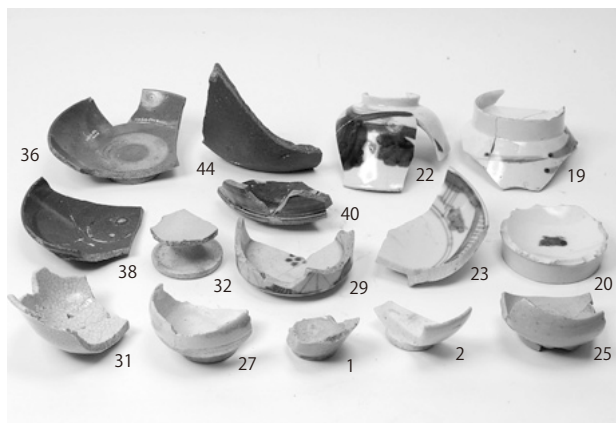
駒林遺跡第 18 地点調査風景



駒林遺跡第 18 地点土坑 1・溝



駒林遺跡第 18 地点全景



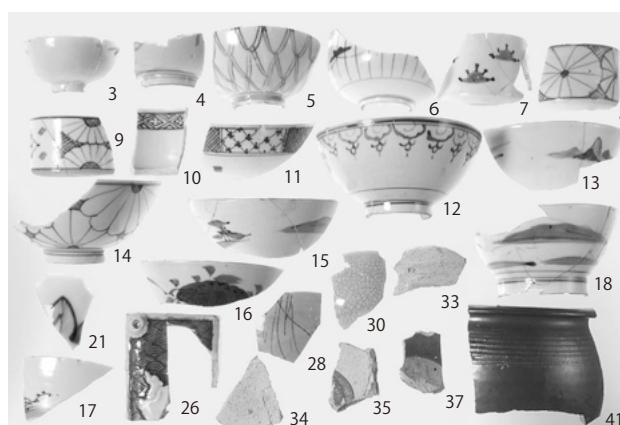
駒林遺跡第16地点井戸1出土遺物



駒林遺跡第16地点井戸1出土遺物



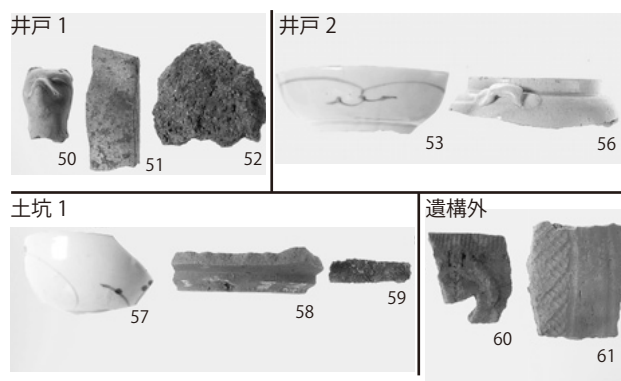
駒林遺跡第16地点井戸1出土遺物



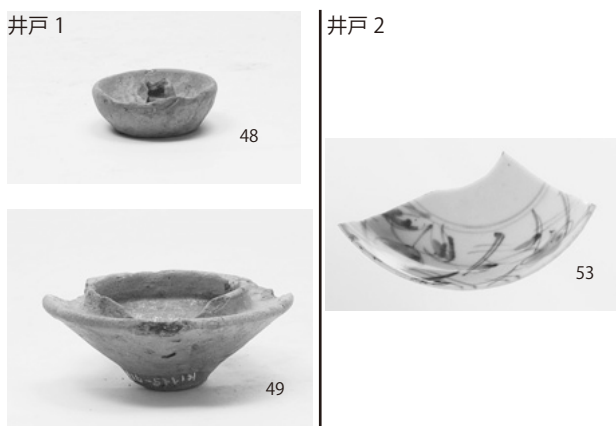
駒林遺跡第16地点井戸1出土遺物



駒林遺跡第16地点井戸1出土遺物



駒林遺跡第16地点井戸1・2、土坑1、遺構外出土遺物



駒林遺跡第16地点井戸1・2出土遺物



駒林遺跡第16地点井戸2出土遺物